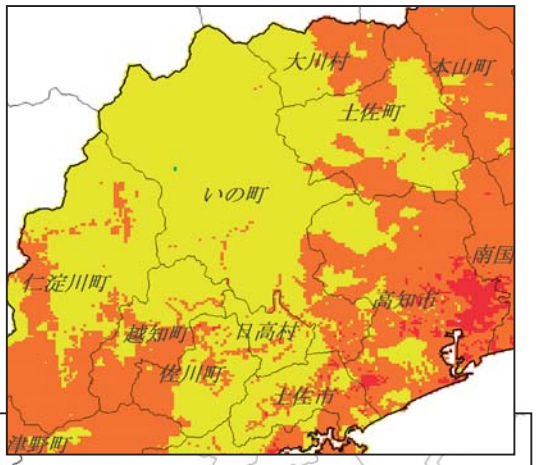
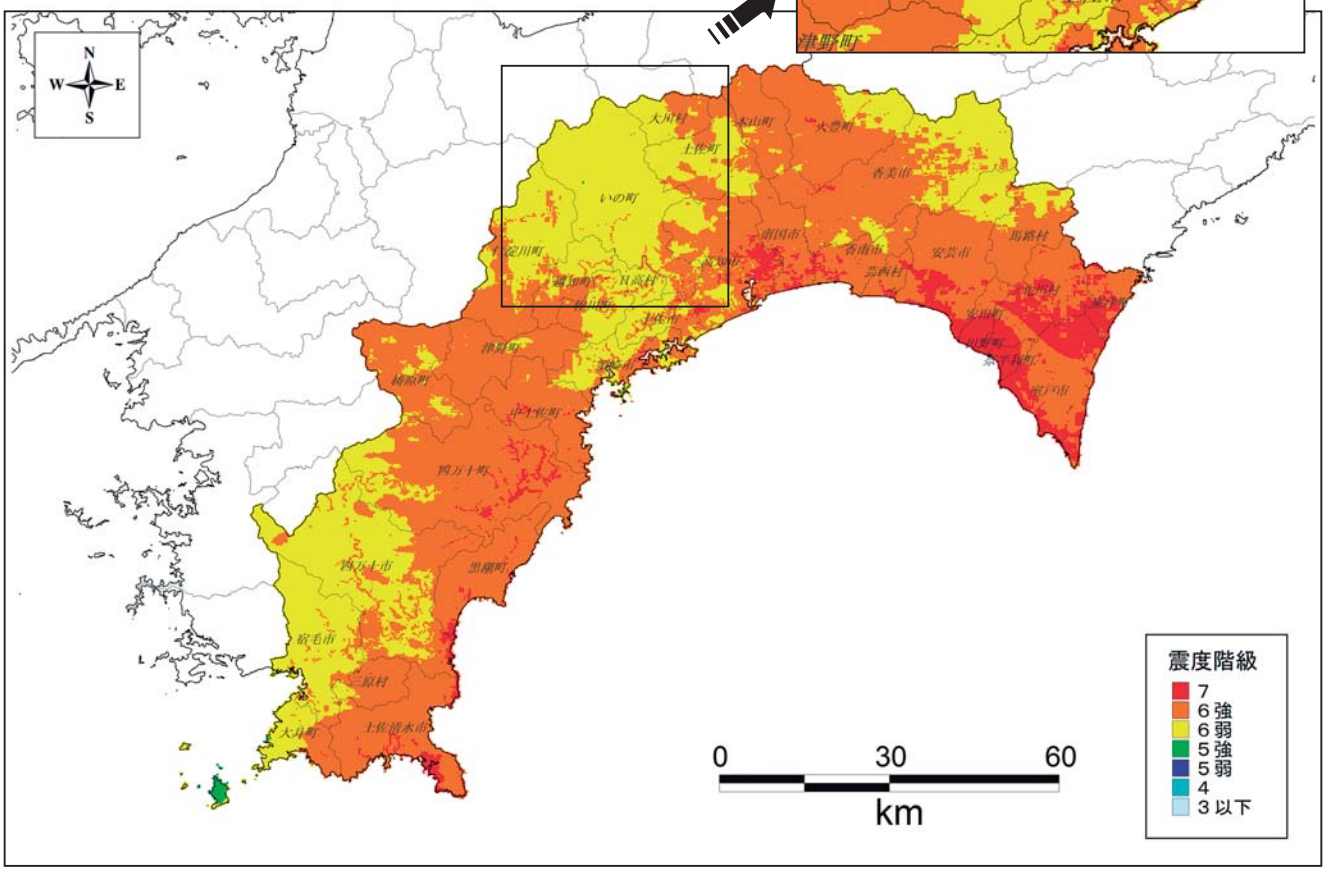
高知県版
第２弾

南海トラフの巨大地震による震度分布・浸水津波予測について

昨年12月に高知県から南海トラフの巨大地震による震度分布・津波浸水予測結果が公表されました。
これは、内閣府が公表した最大クラスの地震・津波を基に、最新の地形データや構造物データを反映した精緻な推計を行うことにより、震度分布・津波浸水予測を推計したものです。
高知県及び町では、今後この想定を基に、南海トラフ巨大地震対策の根幹として、防災・減災対策を推進することとなります。

高知県からのメッセージ　地震・津波を「正しく恐れる」ために

南海トラフ巨大地震による揺れと津波の対策を具体的に進めるためには、対象となる地震・津波がどの程度のものなのか、具体的なイメージを持つ必要があります。
そのため、東日本大震災で得られた最新の知見に基づき、現時点で最大クラスと思われる地震・津波についての想定を行っています。
最大クラスの地震・津波の発生確率は極めて低いものの、こうしたことが起こり得るということも念頭に置いておく必要があります。
ただし、地震・津波はこの想定通りに起こるとは限りません。また、いつ発生するかについても現在の科学をもってしても正確には分かりません。
想定はあくまで可能性の一つであることを認識していただく必要があります。
県民の皆さんには、いたずらに怖がることなく、かといって油断することもなく、地震・津波の特性を正しく理解をし、きちんと備えをしていただきたいと思います。「正しく恐れる」ことがとても重要です。

【震度分布図】（最大クラス重ね合わせ）
どのくらい揺れが強いのかが分かります。
町では旧伊野町市街地を中心に震度６強から震度７が想定されています。伊野市街地は、仁淀川の堆積作用でできた軟弱地盤が広がっており、地震の揺れも増幅され大きくなります。
各ご家庭の耐震化や家具の固定の安全対策を行うことにより、揺れから身を守ることが非常に重要になります。
また町では、今までの内閣府及び高知県の想定を基に、伊野地区を対象に地震・防災マップを作成予定です。
３月末以降に伊野地区全世帯に配布予定となっています。